

こども 防災 たかおか

じ しん つ なみ へん
地震・津波編

じ しん つ なみ
地震や津波はいつ

おそってくるかわかりません。

じ しん つ なみ ひ がい へ
地震や津波による被害を減らす

ためには、ひ ぐ ろ からの へ ぐ べ が たいせつ です。

じ しん お
地震が起きるとどうなる？

か じ お
火事が起きる

つ なみ
津波がおしよせる

わ
ガラスが割れる

じ めん えきたい
地面が液体のように
やわらかくなる

たても の
建物がこわれる

もの お
物が落ちてくる

か ぐ
家具がたおれる

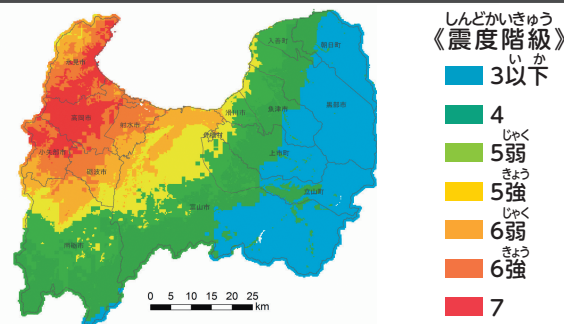


地震・津波編

地震の危険を知ろう

高岡市の近くには、地震を引き起こす可能性のある「活断層」がたくさんあります。石川県七尾市から石川県かほく市に延びる邑知潟断層帯という活断層で地震が起きると、高岡市内のほぼすべてを最大震度7のゆれがおそう危険があります。

震度分布予測図：邑知潟断層帯(ケース4)



高岡市内で想定される被害

強いゆれで全部またはほとんどがこわれる建物数	46,574棟
亡くなる人の数	1,996人
けがをする人の数	9,311人

震度とゆれ

震度3

屋内にいるほとんどの人がゆれを感じる

震度4

おきもの置物がたおれることがある

震度5弱

電灯が激しくゆれ、棚にある食器や本が落ちることがある

震度5強

固定していない家具がたおれることがある。

震度6弱

固定していない家具の大半が移動し、ドアが開かなくなることがある。

震度6強

はわないと動くことができない。地震に弱い建物は、たおれるものが多くなる。

震度7

地震に弱い建物は、さらにたおれるものが多い。



地震・津波編

こんなところで地震が起きたら

大きなゆれを感じたら、ゆれがおさまるまで身の安全を守ります。どんなことに注意したらよいか学びましょう。

家にいるときに地震が起きたら



机やテーブルの下にかくれ、ゆれがおさまるのを待ちます。かくれるものがないときは、ランドセルやクッションなどで頭を守りましょう。



ゆれがおさまったら、火の元を確認します。火が出ているときは、大声で大人を呼びましょう。



ドアや窓を開けて出口をつくります。物が落ちてきて危険なので、あわてて外にいけないようにしましょう。

登下校中に地震が起きたら



上から落ちてきそうなものやたおれてくるものに注意して自分の身を守りましょう。



地震・津波編

海や川のそばにいるときは

海や川のそばでは、津波がおそってくる危険があります。ゆれを感じたらすぐに避難しましょう。

より遠く・より高い場所へ

海岸や川沿いで地震のゆれを感じたら、すぐに「より遠く」「より高い」ところへ避難しましょう。



にげる時間がないときは

遠くへにげる時間がないときは、近くの高い場所へ避難しましょう。



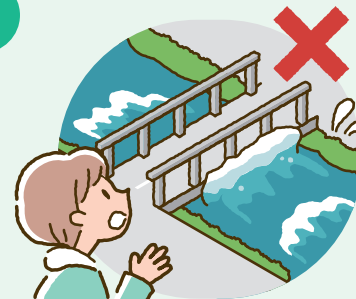
すぐに避難する

津波はとても速いスピードでおそってきます。ゆれを感じたら、津波が見えなくてもすぐに避難しましょう。



川に近づかない

津波は川の流れをさかのぼります。海だけではなく、川にも近づいてはいけません。



津波はくり返しおしよせる

津波は、2波・3波と何度もおそってきます。絶対に海にもどって見に行ったりしてはいけません。



家族に行き先を伝える

海や川に遊びに行くときは、家族にしっかりと行き先を伝えてから出かけましょう。





地震に備えよう

地震のゆれで家具がたおれたりガラスが割れたりして、けがをしてしまうかもしれません。
おうちに危険なところがないか確認して、被害を減らせるように工夫しましょう。

ガラスが割れて飛び散らないように、
飛散防止フィルムをはりましょう。

地震のゆれで物が飛んできて
もけがをしないように、重い
ものは下に、軽いものは上に
入れるようにしましょう。

出入口をふさぐような場所に家具を置か
ないようにしましょう。家具がたおれた
ときに備え、置く向きを工夫しましょう。

落ちてきてもけがをしない、やわらかい
素材のものに換えましょう。

寝ているところに物が落ちて
こないように置き場所を工夫
しましょう。

背の高い家具は置かない
ようにしましょう。

※自分のお部屋の点検が終わったら、家族と
いっしょにおうちの他の部屋や家のまわり
もチェックしてみましょう。